

会 見 年 月 日	令和6年2月14日（水曜日）		
担 当 課	教育委員会文化財課市史編さん担当	（担当者名：小野）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6848	（内線： ）	FAX：0791-43-6848

『赤穂市史史料集』第10集の発刊について

1. 趣 旨

『市史』や『忠臣蔵』の史料編に収録できなかった貴重な史料を幅広く取り上げ、末永く後世に伝え残していくため、平成26年度より『赤穂市史史料集』シリーズの刊行を行っており、今回第10集を発刊する。

2. 内 容

『赤穂市史史料集』シリーズは、『赤穂市史』や『忠臣蔵』の史料編に紙幅の都合などで収録できなかった史料を幅広く取り上げて活字化し、後世に伝え残していくため、平成26年度より刊行を行っているものである。

今回発刊する第10集は、赤穂市内外に伝存する赤穂藩浅野家の分限帳6冊を全文活字化して収録。巻末には、各分限帳の記載内容や浅野家の家臣団構成に関する解説のほか、収録人名索引を収める。また、付録として浅野家時代の城下町の図を付す。

令和6年3月4日（月）より販売を開始する。

※冊子納品令和6年2月28日（水）、冊子配布2月29日（木）の予定

『赤穂市史史料集』第10集の発刊

赤穂市の修史事業は昭和52年に始まり、昭和56年9月の『赤穂市史』第1巻発刊を皮切りに、平成26年1月の『忠臣蔵』第7巻に至るまで、37年の長きにわたり、『赤穂市史』全7巻、『忠臣蔵』全7巻を編集・発刊して完結した。

『赤穂市史』『忠臣蔵』の編集にあたっては、国内外の多くの史料所蔵者の理解と協力を得て、膨大な史料の情報を集積することができた。しかしながら、これら赤穂の歴史を物語る史料、赤穂事件や忠臣蔵に関する史料の収録は、限りある紙幅の中では、やむなく割愛したり、部分的な収録に留めざるをえなかったものも少なくない。

そこで、『市史』や『忠臣蔵』の史料編に収録できなかつた貴重な史料を幅広く取り上げ、末永く後世に伝え残していくため、平成26年度より『赤穂市史史料集』シリーズの刊行を開始した。本シリーズの刊行により、郷土赤穂の歴史や赤穂事件・忠臣蔵の研究の進展に寄与することを企図するものである。

1. 名 称 『赤穂市史史料集』第10集（赤穂藩浅野家分限帳集）
2. 本の体裁 A5判 200ページ
3. 発行部数 1,000部（内販売分 800部）
4. 内 容 赤穂市内外に伝存する赤穂藩浅野家の分限帳6冊を活字化して収録。それぞれ元禄ごろの家臣の姓名・禄高・役職などが記載されている。巻末には、収録した各分限帳の記載内容や浅野家の家臣団構成に関する解説のほか、収録人名索引を収める。また、付録として浅野家時代の城下町の図を付している。
5. 販売価格 350円（送料別途）
6. 販売場所 赤穂市教育委員会 市史編さん室
赤穂市加里屋中洲3-56 TEL/FAX. 0791-43-6848
7. 販売開始 令和6年3月4日（月）

（参考）

『史料集』既刊：各在庫あり

- | | | | |
|--------------------|-------------|----|------------|
| ・第1集「赤穂藩森家諸役姓名録」 | A5判 162 ページ | 1冊 | 250円（送料別途） |
| ・第2集「赤穂藩森家分限帳集」 | A5判 82 ページ | 1冊 | 200円（送料別途） |
| ・第3集「年中用事控（Ⅰ）」 | A5判 228 ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第4集「年中用事控（Ⅱ）」 | A5判 300 ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第5集「年中用事控（Ⅲ）」 | A5判 318 ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |
| ・第6集「年中用事控（Ⅳ）」 | A5判 330 ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第7集「年中用事控（Ⅴ）」 | A5判 428 ページ | 1冊 | 450円（送料別途） |
| ・第8集「年中用事控（Ⅵ）」 | A5判 342 ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |
| ・第9集「明治二十五年赤穂郡洪水史」 | A5判 280 ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |

今後収録予定の史料

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| ・赤穂塩務局建築関係資料 | ・真殿村検地帳 | ・誠忠義臣略伝＋忠臣銘々画伝 |
| ・義士夜討高名咄 | ・御廻状御用書留帳 | ・綿屋文書（義士書状集） |
| ・赤城風雅 | ・尋常高等小学校郷土調査 | など |

『赤穂市史史料集』第10集の主な内容

○巻頭写真

- ・収録分限帳全6冊の部分写真
- ・「浅野家御代家中町割」（寛政9年[1797]写）
- ※付図「浅野家時代の赤穂城下町」のベース図

○赤穂藩浅野家分限帳集

赤穂市内外に伝存する分限帳6冊を全文活字化。いずれも元禄ごろの家臣の姓名・禄高・役職などを記載。収録分限帳は以下のとおり。

- ・ 1 浅野家分限目録 赤穂市立歴史博物館蔵
- ・ 2 元禄年中 赤穂分限帳写 たつの市立龍野歴史文化資料館蔵三木家資料・浅野家資料
- ・ 3 浅野内匠守様御家中 赤穂市立歴史博物館蔵前川家文書
- ・ 4 浅野家分限帖 上松徹氏蔵（赤穂市立歴史博物館寄託）
- ・ 5 浅野家々臣知行姓名書 安永俊規氏蔵大西家文書
- ・ 6 播陽赤穂浅野家分限帳 高田一成氏蔵（たつの市立龍野歴史文化資料館寄託）

分限帳ごとに、記載されている人名の後ろに通し番号を付した（巻末の収録人名索引に対応）。

○解説 赤穂藩浅野家の分限帳

収録されている各分限帳の記載内容や、浅野家の家臣団構成について解説。

○付図 浅野家時代の赤穂城下町

「浅野家御代家中町割」（寛政9年[1797]写、赤穂市立歴史博物館蔵前川家文書）をベースに作図。江戸詰め家臣以外の家臣の屋敷配置を知ることができる。